

Plesiomonas shigelloides O17 由来の UDP-GlcNAc 4-エピメラーゼ、組換え品

Cat. No. NATE-1497

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、UDP-N-アセチルグルコサミン 4-エピメラーゼ (EC 5.1.3.7) は、次の化学反応を触媒する酵素です: UDP-N-アセチル-D-グルコサミン → UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン。したがって、この酵素は1つの基質、UDP-N-アセチル-D-グルコサミンと1つの生成物、UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミンを持っています。この酵素は異性化酵素のファミリーに属し、特に炭水化物およびその誘導体に作用するラセマーゼおよびエピメラーゼに分類されます。

別名 UDP-N-アセチル-D-グルコサミン 4-エピメラーゼ; UDP アセチルグルコサミン エピメラーゼ; ウリジン二リン酸アセチルグルコサミン エピメラーゼ; ウリジン二リン酸 N-アセチルグルコサミン-4-エピメラーゼ; ウリジン 5'-二リン酸-N-アセチルグルコサミン-4-エピメラーゼ

製品情報

種	プレシオモナス・シゲロイデス O17
由来	E. coli
EC番号	EC 5.1.3.7
CAS登録番号	9024-16-2
分子量	38 kDa
純度	SDS-PAGEによる最小95%
単位定義	1ユニットは、37°CでUDP-GlcNAcから1μmolのUDP-GalNAcを生成する反応を触媒する酵素の量として定義されます。